

## 肥満と大腸がんについて

消化器内科

大腸がんで亡くなる人はこの20年で倍増し、女性のがん死亡原因の1位、男性では胃がん、肺がんに次いで3位となっています。

大腸がんが増えた原因として、食生活の欧米化によって赤身肉や脂質の摂取が増加したこと、肥満者が増加したことが挙げられます。肥満の中でも内臓脂肪型肥満が大腸がんのリスクを増大させ、海外の研究ではウエストが2センチ増えると大腸がんは4%増加するとの報告があります。

内臓脂肪型肥満が大腸がんのリスクを高めるメカニズムはまだ研究段階ですが、高インスリン血症、内臓脂肪から分泌されるアディポサイトカインという物質などが関係するといわれています。内臓脂肪型肥満は糖尿病や心血管疾患などに関連

岡本 博司 さん  
国吉病院 消化器内科部長



管疾患などとの関連が深いことは広く認知されていますが、大腸がん、肝がんなどのリスクを高めることにも注意が必要です。